

競技注意事項

この大会は、2021年(一財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

1. 招集

- (1) 競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら招集所前の掲示板にてスタートリストに○をつけ、競技待機所に待機する。混成競技者も同様とする。
- (2) 競技者招集所の位置は、第2ゲート裏にある。
- (3) 招集はすべて競技者係の指示に従う。招集開始時刻・終了時刻は次の通りとする。

		予選	準決勝・決勝
トラック競技 (100m, ハーツル)	競技開始時刻	25分前～15分前	20分前～15分前
(上記以外)	競技開始時刻	30分前～20分前	25分前～20分前
フィールド競技 (走高跳)	競技開始時刻	55分前～45分前	40分前～35分前
(棒高跳)	競技開始時刻	—	75分前～65分前
(走幅跳)	競技開始時刻	50分前～40分前	35分前～30分前
(砲丸投)	競技開始時刻	45分前～35分前	30分前～25分前
四種競技	トラック種目	30分前～20分前	フィールド種目 50分前～40分前

- (4) 招集に遅れた者の出場は認めない。
- (5) 招集完了後、競技者待機所で待機し、勝手にその場を離れてはならない。移動は、競技者係の指示に従う。
- (6) 2つの競技に出場する競技者は、該当競技の招集開始時刻10分前までに所定の用紙に記入し、競技者係に連絡し、係の指示に従って行動する。(2種目同時出場届は競技者係に備えてある。)
- (7) 2種目同時に出場する競技者は、当該競技審判主任の判断により、フィールド競技について試技順を変更することができる。試技順を変更しても試技時間に間に合わなかった場合は、「パス扱い」となる。走高跳・棒高跳においては、事前に申告すれば「無効試技扱い」とみなす。
- (8) リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- (9) アスリートビブスは、縫い付けるか安全ピンで確実に止めること。(走高跳・棒高跳・走幅跳に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい)
- (10) トラック競技の出場者は、出発係(現地で)より腰ナンバーカード(シール式)を受け取り、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。シールを剥がしたゴミは、指定された(スタート地点)ゴミ袋に捨てる。使用後の腰ナンバーカードについては各自で持ち帰ること。

2. レーン・競技順

- (1) プログラム記載の上から下への番号順とする。ただし、四種競技は、種目ごとに試技順が違うのでプログラムで確認すること。
- (2) トラック競技の決勝のレーン順及びフィールド競技決勝の試技順は番組編成員で公平に抽選し、記録掲示板および大会HPに掲示する。

3. トラック競技

- (1) タイムにより次のラウンドの出場者を決める際に同記録者があるときは、TR21.2を適用する。
- (2) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
- (3) 写真判定のため、腰ナンバーカードを使用するがリレーの場合は第4走者のみとする。
- (4) 1500m決勝は18名で行う。
- (5) 3000mは階段式スタートで行い、第1グループを2/3、残り1/3を第2グループに分けてスタートする。
- (6) 3000mについては胸部のアスリートビブスをレーンナンバーカードに付け替える
- (7) TR16.5.3は本大会では適用せず、注意を与えるものとする。

4. フィールド競技

(1) 走高跳・棒高跳

① 走高跳は、男子・女子ともに予選・決勝とし、バーの上げ方は次の通りとする。

【予選】

男子 練 習 1m45 1m65

競技開始 1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m73-1m76-1m79-1m82-1m85 (予選通過記録)

女子 練 習 1m25 1m45

競技開始 1m30-1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-1m54-1m57-1m60 (予選通過記録)

【決勝】※最後の一人になるまでは下記の通り。

男子 練 習 1m55 1m70

競技開始 1m60-1m65-1m70-1m73 以降 3 cmきざみとする。

女子 練 習 1m35 1m50

競技開始 1m40-1m45-1m48 以降 3 cmきざみとする。

② 棒高跳は決勝のみとし、バーの上げ方は次の通りとする。

【決勝】練 習 2m40 2m80 3m20 3m60

競技開始 2m60 最後の一人になるまでは 10 cmきざみとする。

③ 第1位が2名以上の場合、順位決定のバーの上げ下げは、走高跳は2cm・棒高跳は5cm単位とする。

(2) 走幅跳・砲丸投

① 予選通過記録は、下記の通りとする。

男子 走幅跳 6m55 男子 砲丸投 13m00

女子 走幅跳 5m45 女子 砲丸投 12m50

(3) 混成競技

走高跳のバーの上げ方は、A・Bピットとともに次の通りとする。

男子 練 習 1m25 1m45 1m65

試技開始 1m25 から 5 cmきざみ 1m50 以降 3 cmきざみとする。

女子 練 習 1m00 1m30 1m50

試技開始 1m10 から 5 cmきざみ 1m25 以降 3 cmきざみとする。

(4) 助力

助力については、競技場内での助力は禁止とするが、コーチング席（エリア）からの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。また、選手はミュージックプレーヤー・携帯電話・その他類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

5. 競技について

(1) 競技者・監督といえども、その競技に出場する者以外は競技場内に入ることはできない。

(2) 短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンに沿って走り、前後左右の安全を確認してからレーンを出ること。

(3) リレー競技のマーカーは主催者側で用意したものを競技者係で受け取る。使用は1カ所とし、使用したマーカーは、そのチームで処理すること。

(4) 棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を練習の時に担当審判員に申し出ること。

(5) 抗議はTR8に従って定められた時間内に、各地区専門委員長（またはその代理の者）が総務員に申し出る。さらにこの裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え、総務員を通じて文書で申し出る。なお、ジャッジの裁定が最終決定となる。

(6) クラブチーム名の入ったユニフォーム着用は原則として認めない。もし着用する場合はクラブチーム名をテープで隠すなどの処置をすること。

6. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外全て主催者が準備したものを使用しなければならない。
- (2) 個人使用のポールは、検定を受け合格したもののみ使用できる。ポールの検定は棒高跳ピットで跳躍審判員が行う。

7. 練習について

別紙の公開練習要領に従い、注意事項を遵守し安全に留意し練習すること。

8. 競技用スパイクおよびシューズの厚さについて

- (1) スパイクピンは、全天候用を使用すること。長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。ニードルピンについては使用できない。
- (2) 競技会で使用できるシューズの靴底の厚さはTR 5. 1 3. 3を適用する。ただし、フィールド競技用シューズにおいてはTR 5. 5の適用を除外とする。ただし、ランニングシューズ（アップシューズ）等で出場することはできるが靴底の厚さ等が規則外であれば失格となる。

9. その他

- (1) 8位までの入賞者に賞状を授与する。3位まではメダルを授与する。リレー優勝校には優勝杯を授与する。
- (2) 表彰は行わず各種目の決勝終了後、入賞者は担当役員の指示で所定の場所に移動し、各自で賞状を受け取る。
- (3) スタート前に脱いだ衣類の運搬は行わない。あらかじめ用意された袋に入れ指示された所定の場所に置き、レース終了後その場所まで戻る。衣類、荷物を持って退場する。
- (4) 正面スタンド前（本部席前）は通行禁止とする。
- (5) 応援横幕・のぼり旗などの設置は、芝生スタンドの手すり部分に競技運営に支障のない範囲で可とする。
- (6) 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もあり得るので、アナウンスを聞き漏らさないよう注意すること。
- (7) 奉呈届（用紙は競技者係に備えてある）は、競技開始90分前までに競技者係へ、プログラム正誤表（袋の中にある）は出場種目のある日の午前8時30分までに競技者係へそれぞれ提出すること。
- (8) リレー競技については、同一色のユニフォームを着用すること。
- (9) 携帯電話、その他類似の機器を競技場内で所持及び使用することを禁止する。
- (10) 盗撮行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止する。（例えば、トラック種目スタート時の前方・後方からの撮影や走幅跳砂場正面からの撮影など）また、競技場内で撮影した全ての写真・動画は確認させていただく場合がある。

10. テントの設置について

- (1) テントを設置する場合は、以下の注意事項を守り、各校責任を持って取り扱うこと。
- (2) 場内への設置はできない。
- (3) 地区中体連ごとに割当（地区専門委員長の所在場所として）をしているのでその範囲内に設営すること。不足の場合は、本競技場周囲の芝生部分に設営することも可とする。設置可能場所は、会場図を参照すること。（サブトラックのトラック外側芝生の一部は可とする）
- (4) 大会中テントは片付けて持ち帰ることを原則とするが、骨組みだけを残したり、テントを低くしたり（シートやビニールテープも可）するなど飛ばない工夫ができる場合にかぎり残してもよい。また大会中、強風などにより撤去をお願いすることもあるので、アナウンスの指示に従うこと。

11. 本競技場の使用について

- (1) 競技場内、スタンドの開門 7月26日（月）…12:00
7月27日（火）～28日（水）…7:00
- (2) ゴミ箱は設置されていないので、ゴミは必ず持ち帰ること。